

## 平成 23 年度 第 2 回 神経・筋疾患ケアセミナー（呼吸リハビリテーション）を終えて

今年度、2 回目の神経・筋疾患セミナーは「呼吸リハビリテーション」をテーマに、地域で実際にケアに従事されている方々を中心に、神経筋疾患の呼吸理学療法の基礎知識と実際について体験する場とさせていただきました。

当院の神経内科医師の松村 剛による講義では呼吸理学療法の必要性、呼吸管理導入患者数の推移、神経筋疾患の呼吸不全要因、舌咽頭呼吸や最大強制吸気量、PEEP 弁装着蘇生バッグについて呼吸理学療法の内容について説明しました。また、理学療法士の宗重 絵美による講義で深吸気練習の目的と方法・導入基準、息留め（AIR STACK）の必要性、救急蘇生バッグ使用時の注意点、NIPPV の使用、排痰の目的と方法、カフアシストによる咳嗽介助について説明をしました。

講義のあとで 3 グループに分かれ、A：アンビュー、PEEP 弁付きアンビューでの MIC 体験（アンビューバッグを押して流量確認、MIC の実際を説明し体験、その後 PEEP 弁付きアンビューでの MIC 説明と体験） B：PCF、アシスト PCF 体験（PCF を測定しアシスト PCF を体験） C：カフマシーン体験（カフマシーンの使用方法を説明し体験）を体験していただきました。

研修終了後のアンケートには「短時間でもものすごく内容の濃いセミナーでした」「肺痰援助など自分の主義の見直しができました」「お話もわかりやすく、演習でも施行者・体験者となりリアルに感じる事ができた」「もう少し時間をかけて演習したかった」等の感想をいただきました。





## 体験場面



実践しながら、  
みんな真剣に取り  
組んでいました。

神経・筋疾患ケアセミナー担当者一同